

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 56 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

発行日：2005年6月5日(日)

発行者：浮田 徹也

漢方薬のよさ(56)

高血圧症 I



今年も半分が過ぎようとしています。つつじの季節も終り、紫陽花の季節になりました。当院の紫陽花は毎年美しい花と葉を付けてくれます。今年は、余呉湖、宇治神社、神戸森林公園の紫陽花に会いたいと思っています。四月に続く、七月の東洋医学学会の役員会(大阪)、五月の日本東洋医学総会(富山)、七月の漢方医師研究会(京都)で、多くの漢方研究医師と出会えます。それぞれの地域の風景(花、川、山など)を愛でると共にそれぞれの医師が出会った病氣(患者様)を知り、一緒に診断、考察できることはとても有意義で、また楽しいひと時でもあります。

今月は**高血圧症**のお話です。

糖尿病や高脂血症と同様、生活習慣病と呼ばれ、生活習慣や生活様式が深く関係しています。わが国の主要死因の心血管疾患の最も

危険な因子と言われ、放置すれば、脳卒中、心筋梗塞、心不全、腎不全が発症しやすくなります。一般的には一四〇/九〇以下を、糖尿病や腎臓疾患や脳梗塞などでは、一三〇/八五以下を目標にすべきです。タバコ、お酒を中止、食塩



明月院の紫陽花(鎌倉)

をできるだけ減らし、適度な運動睡眠をとることが大切です。また血圧は夏はやや低下、冬はやや上昇、午前六時〜一時に上昇する傾向があります。中でも、心筋梗塞、狭心症などの循環器疾患は朝、起床直後に頻発しています。漢方治療は、四診(脈、腹、舌、問診など)を十分に行い、虚、実、寒、熱などを診断し、処方を決めます。実証で熱証の人には、黄連解毒湯、三黄瀉心湯、防風通聖散、大柴胡湯、柴胡加竜骨牡蠣湯、温清飲を、虚証で寒証の人には、真武湯、当帰芍薬散を、高齢者には、釣藤散、七物降下湯、八味丸を、その他、症状に応じて、加味逍遙散、抑肝散、柴胡桂枝乾姜湯、女神散、半夏厚朴湯などを用います。

では、実例を挙げましょう。

五三歳男性、**高血圧(一八〇/一二〇)**、頭痛、後頭部痛、悪心(ムカミ力)、疲労感、便秘。二週間前から症状を頻回に自覚するようになった。顔は赤く、腹は全体に硬く、心下部に軽度の抵抗を認めた。脈は緊、実、数。舌は鮮紅色、薄乾黄苔、舌尖に紅点。そこで、三黄瀉心湯加釣藤鈎、





十葉を処方。一週間後、すべての症状が消失した(二六〇〜二一〇〇)。二ヶ月後、二六〇〜九〇。六ヶ月後、一五〇〜九〇。一年後、一四〇〜九〇。二年後、一四〇〜八〇。

2歳男児、**アトピー性皮膚炎**、顔(額、頬、顎)に湿潤性紅斑、胸・肘・膝に貨幣状湿疹様(あるいは落屑性紅斑)皮膚が見られ、卵白、牛乳、ハウスダスト、ダニのアレルギーが認められた。顔色は全体に青白いが両頬に赤みがあり、腹部は緊張、両側腹直筋が硬く、正中芯を認めた。皮膚は乾燥しザラザラで、至るところに掻爬痕が見られた。脈は浮、細、数。舌は淡紅色、無苔。そこで、乾燥部分には紫雲膏、湿潤部分には太乙膏、小建中湯(湯液)を処方。卵白、牛乳の量を極力制限し、ハウスダスト、ダニに対して、家の清掃、衣類や蒲団の日光消毒を薦めた。一ヶ月後、皮膚のかゆみや掻爬痕は増えなくなった。六ヶ月後、湿潤した皮膚はほとんどなくなった。一年後、数箇所掻爬痕が見られるのみになった。二年半後、廃業。六十九歳女性、**骨粗鬆症**、腰痛、便秘、足のむくみ、老人性腔炎、



[院長]

体重四三kg、身長一五六cm。青黒い顔、腹は全体に柔らかく、臍上悸、臍下悸、左右臍傍の抵抗と圧痛を認めた。脈は弱く、遅。舌は暗紅色、薄乾白苔。そこで、独活寄生湯加地黄、乾姜、紅花、桃仁、牡丹皮、木瓜、木通、修治附子、エストリオール腔錠、フォサマック錠を処方。四ヶ月後、腰痛、便通、足のむくみが改善。六ヶ月後、腔炎(帯下、出血)が改善。三年後、骨量是不変。症状の悪化はない。

二十七歳女性、**乳腺炎**(分娩後一〇日)、発熱(三十九℃)。赤ら顔、腹はやや膨満、左臍上に抵抗と圧痛を認めた。脈は浮、緊、数。鮮紅色舌、薄黄苔。両側乳房に硬圧痛部分を認めた。そこで、葛根湯加桔梗、枳実、石膏処方。乳房マッサージを実施。翌日、解熱。翌々日、もう一度乳房マッサージを実施。

次回は、**夏ばて**についてです。



アトピー性皮膚炎

“こころ”と“からだ”と“環境”に影響を受けます。疲労感、食養不振、不満や心配をなくし、環境を整え(ダニ、カビ、湿度・・・)、乾燥肌(表皮はカサカサ、皮下はジクジクして熱がこもる)をよくするため、漢方薬(内服、外用薬、入浴剤)を中心に、希望により、一部ステロイドなども併用します。



骨粗鬆症

骨量は、成長期のカルシウムや蛋白の摂り方、運動の仕方が影響します(小学校～高校の時期)。女性の骨量は閉経以後、急速に減少、男性は、50歳を過ぎるころから徐々に減少します。当院は、定期的に骨量を測定しながら、漢方薬、西洋薬、食事指導などを利用して治療しています。



乳 腺 炎

お乳が赤くはれ、痛み、発熱します。乳房マッサージ、乳房の安静(冷却)、漢方薬、抗生物質、自然植物によるシップを利用しています。予防は、乳房の自己管理で、乳房と乳首の手入れを怠らず、乳汁のうっ滞や肩こりを感じるときには、当院の漢方薬(エキス剤、煎じ薬)を服用することをお薦めします。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器（無料）をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、痰、陰分泌液、心電図、骨量測定・・・）などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定（4～6ヶ月ごと）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査（尿）も実施しています。

皮内針、針管付き鍼

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。
肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

予約-更年期外来 予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-更年期漢方と予約-漢方外来を実施しています。（予約制、各1回/月）。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。
（1人15～20分）（電話予約可）（午後2時～3時）

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏 ・靈芝
- ・アガリクス ・メシマコブ ・AHCC ・サメ軟骨

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に（月に2～72回）訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、**居宅療養のお手伝いをする制度**です。費用は1割の負担になります。**介護保険に制約されません。**

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
正午～午後12時30分	産後健診(予約可)	—	—	—	—	—	—
午後2:00～午後3:30 (予約は2:00～3:00)	育児相談(予約) (無料)	—	—	—	乳房相談(予約) (有料)	予約外来 (月2回)	—
午後2:00～午後3:30	在宅訪問診療	—	在宅訪問診療	—	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約不要) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方治療。
 ◇予約一漢方外来(1回/月、土曜日): 1人15～20分の診察。電話予約可。1月1回(日程はホームページ、掲示板参照)。
 6月11日、7月9日、8月13日、9月10日、10月8日、11月5日、12月3日、1月7日、2月4日、3月11日
 ◇更年期外来(月 夕方)(予約不要): 更年期の方、思春期の方(女性、男性どなたでもお越し下さい)
 ◇予約一更年期外来(1回/月、土曜日): 1人15～20分の診察。電話予約可。1月1回(日程はホームページ、掲示板参照)。
 6月18日、7月23日、8月20日、9月17日、10月15日、11月26日、1月28日、2月18日、3月18日
 ◇不妊外来(水 夕方): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◇妊婦外来(火 金): 妊婦健診、妊娠中の方
 ◇産後健診(月曜日)(有料): 正午～午後12時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
 ◇乳房相談(金曜日)(有料): 1人20～30分の乳房マッサージ。電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)。
 ◇育児相談(月曜日)(無料): 1人20～30分の育児相談。電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)。

前期と中期-母親教室

日時: 7月8日、8月3日、9月7日、10月5日
11月2日、12月14日(金)

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所: 当院1階 申込方法: **申込ノートでご予約**して下さい。お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。
お産まで奥様の腰をマッサージ(さする)するコツを習得してください。

後期-母親教室

日時: 6月8日、22日、7月13日、27日、8月10日
24日、9月14日、28日、10月12日、26日(木)

対象: 妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

母親教室ティータイム

“ガレット・オ・ブル” フランス語で“バター風味のフランス田舎風厚焼きクッキー”。
 発酵バターのたっぷり入った風味豊かなクッキーです。ブルターニュ地方の銘菓で、“ガレット・ブルターニュ”とも呼ばれています。
 “タルト・オ・フロマージュ” 新鮮なクリームチーズをたっぷり使い、レモン風味をアクセントにしっとり焼き上がりました。チーズのkokのある味わいが素敵です。
 サブレとやわらかなチーズの相性をお楽しみください。



表と裏(漢方薬)

体の表面付近を“表”と言い、頭痛、発熱、項背のこわばり、関節痛、筋肉痛などに関係し、消化管付近を“裏”と言い、腹満、下痢、便秘などに関係しています。一方、咳嗽、胸痛、胸苦しさ、むかむか、吐き気、みぞおちの痛み、脇腹の痛みなどは、“表”でも“裏”でもなく、“半表半裏”と呼ばれています。漢方医学では、二つのものを対比して、体を“真ん中”の状況に調整しようとします。(表裏、寒熱、陰陽、虚実、燥湿などのように)



分娩予約

妊娠34週までに受付で予約して下さい。
 ご予約には、**分娩予約カードと予約金5万円**が必要です。
 予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

- ・助けて ウッキー! DRウッキーの悩み相談
- ・婦人科 産科 漢方科 友達に教える
- ・外来診療のご案内などを掲載 (i-mode 対応)

パソコンホームページ
(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

- ・漢方のページ(当院の漢方治療、症例)
- ・産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
- ・老人医療のページ(在宅訪問診療、予防接種)
- ・当院の施設案内、当院への交通(車、JR)
- ・周辺の観光地など掲載(滋賀県)。

育児相談 母乳相談(助産師)

退院後～1年間の育児相談(月曜日)(無料)と母乳相談(金曜日)(乳房マッサージ)(有料)をしています。
 (各1回/週、1人30分)(電話予約可)(午後2時～3時)

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時: 毎週月曜日 正午～午後12時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

第17回妊婦のための料理教室

日付: 7月3日(日) 時間: 午前10時～午後2時
 献立: フランス料理 対象: 妊婦の方(無料、当院)